

# 何でも司法教室

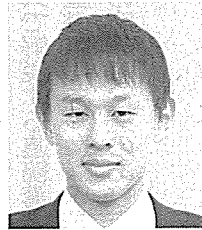
## 権力をチェック裁判に緊張感

Q なぜ、弁護士は悪い人を弁護するのですか？

世間を騒がせる凶悪な事件が起きた時など、「なぜあんなにひどい事件を起こした人の弁護をするのか」と、知人から聞かれることがあります。刑事裁判がどんなものかを考えてみると、その疑問が少しは解消されるかもしれません。

弁護士

山崎 栄喜さん



ん。刑事裁判とは、国家権力が私たちの財産、身体、自由、時には命さえも奪うものです。世間の処罰感情や権力

者の気分次第で、警察が自由に捜査し、検察官が自由に起訴し、裁判官が自由に判決を出せるとなると、私たちは安心して生きていけなくなるのではないのでしょうか。憲法31条では、罪と罰と手続きをあらかじめ法律で定めるよう求め、国家権力に縛りをかけています。しかし現実

には、人が人を裁く以上、間違いの生じる可能性は排除されません。間違いを事前に防止したり、早めに正したりするためには、警察官や検察官と対立し、裁判官の面前に立つ全ての被疑者、被告人に十分な反論の機会を与えることが必要不可欠です。しかし、全ての被疑者、被告人が法律に詳しいわけではありませぬ。ここに、法の専門家である弁護士が、どんな事件でも等しく弁護活動を全

うする理由があります。弁護士が、世間の処罰感情に左右されず、被疑者の言い分をもとに、常に厳しく国家権力の運用をチェックすることで、刑事裁判に緊張感が生まれます。これにより、私たちが、いかなる時も適正な裁判を受けることが可能となります。心の内では葛藤しつつも、粛々と職務を全うすることが、弁護人に課せられた役目です。(はまだ市民法律事務所)